

神戸市は6日、2015年のインバウンド（外国人観光客）が初めて年間100万人を突破したと発表した。観光庁のデータを基に約107万9千人と推計。台湾、韓国の上位2カ国で全体のほぼ半数を占めた。

（26面に関連記事）

現在の方法で統計を取り始めた12年と比べて2・8倍。特に東南

神戸市が初の 外国人観光客 100万人突破

15年推計 台湾、韓国が半数
アジアの伸び率が7・9倍と大きかった。同市中央区にある日本最古級のモスクのPRに力を入れており、イスラム教徒が多いマレーシアの伸びが顕著という。

国・地域別では台湾が最多の25%を占め、韓国（23%）、中国（21%）と続いた。

市は観光用ホームページを5言語から倍の10言語にするなど受け入れ態勢を強化しており、市観光コンベンション課は「神戸の文化美意識を発信し、観光客をより増やしたい」としている。市は11年に策定した「神戸観光プラン」で15年のインバウンド100万人を目指していた。政府が20年の目標をこれまでの倍の4千万人としたことを受け、16年度以降の目標を検討する。

（若林幹夫）

名前【 】

① 2015年に神戸市を訪れた外国人観光客が、初めて年間100万人を突破しましたが、どこの国・地域が多かったのですか？上位3つあげなさい。

[]

② 現在の方法で統計を取り始めた3年前と比べて、東南アジアの伸び率は、何倍ですか？

[] 倍

③ 韓国の個人旅行者に人気が高いのは、何でしょう？

[]

④ 欧米の富裕層に好評なのは、何でしょう？

[]

⑤ 記事を読んでどう思いましたか。感想を書きましょう。

[]